

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスぶりんぐあっぷ		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身体機能や体の使い方を適切に向上させることができる。	トランポリン、ボルダリング、平均台など運動療育の器具が充実している	作業療法士等の確保や運動専門家からの助言、地域資源の連携を通して、専門性を強化していく。
2	将来に向けての自立活動や訓練等が行える。	職業体験の実施や、希望する職業の作業内容を早期段階で習得し、将来の視野を広げられるよう支援を行っている。	職業体験など受け入れの幅を広げていくため、地域事業者との連携強化。利用者のニーズに合わせた職業体験の実施を行っている。
3	不登校児童を登校できるように計画を立ててサポート体制を常に整えている。	受け入れ時間の柔軟性や学校関係者、保護者などとの情報共有を密に行い、チームで計画を立案し遂行している。	専門家からの助言や指導を参考に、利用者に向けたアプローチ方法を構築していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	余暇活動スペースの確保。	建物の構造上、十分なスペースを確保することが困難。	増築を検討し、余暇スペースの確保に努める。
2	玄関が狭く、保護者との会話が行えない。	保護者等の相談を玄関での会話で対応してしまっている。	職員室または談話室などの空間を設置し、保護者とのコミュニケーションが十分に取れる体制を整え、情報共有の強化を図る。
3	職員の専門性向上。	研修等は実施しているものの、職員個人の専門性理解にばらつきがみられる。	職員一人一人のニーズに応じた研修会の実施を行い、職員間でのコミュニケーション力の強化。ロールプレイなどを多く取り入れ、チームで事例検討を行い、都度助言をする。また、職員全員でPDCAサイクルの確立を目指す。